

認定特定非営利活動法人大阪自然史センター

2022年度事業報告

2022年1月1日～12月31日

I 事業実施報告

今年度の大阪自然史センター定期総会は新型コロナウイルスの感染防止のため、昨年2022年に引き続きオンラインで総会を開催することといたしました。

新型コロナウイルス感染症の蔓延が2020年初めに報じられて以来、何とも歯がゆい状況がいまだに続きます。2022年度の定期総会も感染防止のため、昨年に引き続き、オンラインで開催することといたしました。

2022年度は大阪自然史センターがNPO法人化して21歳となりました。「～社会と自然と博物館をつなぐ～自然を見つめ、自然から学び、自然を楽しく伝え、自然を大切に思う気持ちを育む」というミッションの中で、大阪市立自然史博物館と長年培ったパートナーシップを生かし、人も自然も生きいきできる社会を目指してきました。

2021年に続き2022年もコロナ変異株による感染拡大で、この一年も活動に様々な制約が生じました。しかし、創意工夫をこらしながら、事業の受注と実施を展開し、コロナ前に匹敵する活動を展開することができたのは、社員のみなさんの支えがあったことで、厚く感謝いたします。

厳しい状況ではありましたが、うれしいことに新しいお客様から仕事をいただき、コロナ禍で顕著になったネット社会の拡大を反映して、ネットショップには従来に増すご注文をいただきました。

何より、3年ぶりの開催となった「大阪自然史フェスティバル」には、開催を待ちわびた数多くの団体、企業、地域グループなど多くの方々にご参加をいただき、大変充実した2日間となりました。

また、活動に重要な寄付金募集には、日ごろから応援していただいているの方々をはじめ、多方面からのご支援をいただきました。「社会と自然と博物館をつなぐ」活動を継続させるため、これまで積み上げてきた成果を次の世代にしっかり手渡す事業に活かしていく方針です。

自然に親しみ、実物とふれあうことによって得られる博物館ならではの経験を生かし、サポートしようとする意欲にあふれたスタッフを維持・充実し、センター活動を支えるには、自然に親しもうとする博物館のユーザーコミュニティの深いご理解が不可欠と考えています。

2023年もコロナ禍が気がかりではありますが、設立22年目の年として、堅実な事業を継続する方針です。自然が身近なことに気づいてもらえる機会をつくり、博物館のユーザーコミュニティを拡充し、自然に親しもうとする市民や市民団体とともに「自然史科学の発展と普及」に資する事業展開につなげていきたいと考えています。

意欲・経験・技能を併せ持つ社員の皆様には、友の会事業、普及啓発事業、調査研究事業などに参画していただくなど、幅広くセンター活動をご支援いただくことを期待しています。

II 各事業について

1. 友の会事業

[内 容]

大阪市立自然史博物館友の会を組織し、会報 Nature Study 毎月の12回発行と月例ハイキングや友の会イベントなど自然観察事業を実施した。(コロナウィルス渦での中止もあったが、かなり以前に戻ってきた。)

[場 所]

大阪市立自然史博物館および大阪府内など

[日 時]

2022年通年

[対象者]

大阪市立自然史博物館友の会へ入会した市民等 1573名(うち賛助会員106名)

2. ミュージアムサービス事業

[内 容]

大阪市立自然史博物館・花と緑と自然の情報センターへの来館・来場者に自然史科学の普及およびサービスを実施するため、大阪市から占用許可を受け、博物館の掲げる趣旨に沿って、自然史に関する書籍・自然観察道具やグッズ等を特別展示や各種イベント開催に合わせて販売。多くの博物館来館者に満足していただけるようサービスの提供に努めた。

2022年も引き続きコロナ禍ではあったが、イベント開催も再開され始め、出張販売の機会があれば積極的に出展した。また、全国の書店やミュージアムショップへの委託・卸販売など、店舗の運営と平行させて事業展開を行った。「いきもにあ」、「博物ふえすていばる」、「神保町ヴンダーカンマー(東京)」、「京都ヴンダーカンマー」、「昆虫大学」、「東急ハンズ生きものPARTY!」、「わくわく野鳥博」など、生き物をテーマにしたイベントに参加した。ネット販売にも力を入れ、多くの方々にご利用いただいた。2022年に企画した新商品は、「鳥の巣 T シャツ」、「鳥の巣と卵バンブーマグカップ」、「鳥の巣バッジ」ほか。各種Tシャツのリニューアル制作も多数行った。

[場 所]

大阪市立自然史博物館ほか各種学会・イベントなど

[日 時]

2022年通年

[対象者]

一般来館者・各種学会・イベント参加者等

3. ボランティア事業

実施なし

4. 出版事業

[内 容]

自然史科学の書籍の発刊企画を行い、自然観察を通じて自然史科学の普及に努める準備をした。

5. 調査研究受託事業

[内 容]

自然史科学の振興発展のため貝塚市自然環境基本調査事業、能勢町標本活用等業務・能勢町版レッドリスト(仮称)策定業務等を受託・実施した。

[日 時]

2022 年通年

[場 所]

大阪府内など

6. 普及教育事業

[内 容]

自然史科学の普及教育のため各種イベント・事業のデザインやイラスト、チラシ・資料・看板等作成、ワークショップなどを受託・実施した。また、博物館等維持管理の一環として大阪市立自然史博物館子ども向けワークショップ業務、「日本の鳥の巣と卵 427」キッズマップ、キッズパネルの企画デザインを受託実施した。「いばらきいきもの博」運営業務等を受託実施した。

[場 所]

大阪市立自然史博物館、大阪府内など

[日 時]

2022 年通年

7. 自然保護・自然環境保全に関する事業

関西自然保護機構

[内 容]

関西自然保護機構を組織し、会誌の発行、シンポジウムの開催、研究支援事業の実施、自然保護に関する提言、調査研究の受託、その他機構の目的を達成するために必要な事業を実施した。

[場 所]

大阪市立自然史博物館、大阪府内など

[日 時]

2022 年通年

8. 施設運営管理事業

高槻市立自然博物館の施設管理運営事業

[内 容]

自然史科学の振興普及および自然保護・自然環境の保全に関する体験施設の運営管理事業として、高槻市立自然博物館(前高槻市芥川緑地資料館)の施設管理運営事業を、地元の NPO 法人芥川倶楽部と大阪自然史センターが共同で「あくあびあ芥川共同活動体」を組織し、センターが主に人事経理総務部門を受け持ち、高槻市の仕様にに基づき施設の維持管理及び博物館運営に取り組んだ。

[場 所]

高槻市南平台 5-59-1 高槻市立自然博物館

[事業期間] 2022 年度から 2026 年度末まで

III 社員総会の開催状況

[名 称] 2022 年度（第 21 期）第 22 回定期総会

[場 所] 大阪市立自然史博物館会議室本部 Zoom 会議

[日 時] 2022 年 2 月 5 日（土）午後 3 時 00 分～4 時 00 分

[出席者数] 55 名（社員総数 73 名 本人出席 36 名、委任状出席 19 名）

[内 容]

議 事

第 1 号議案. 2021 年度事業報告（事業報告書参照）

事務局から定款記載の事業を例年どおり実施したことが報告され、出席社員の賛成多数をもつ

て2021年度事業報告を承認した。

第2号議案、2021年度収支決算報告（財産目録、貸借対照表、損益計算書、活動計算書参照）

事務局から決算内容が説明され、監事から監査報告があり、出席社員の賛成多数をもって2021年度決算を承認した。

第3号議案、2022・2023年度事業計画（事業計画書参照）

事務局から定款記載の事業を実施する旨の提案説明があり、出席社員の賛成多数をもって2022・2023年度事業計画を承認した。

第4号議案、2022・2023年度活動予算（活動予算書参照）

事務局から活動予算について提案説明し、出席社員の賛成多数をもって2022・2023年度予算を承認した。

以上の議案について事務局より一部誤植を修正し、また、所轄庁の指示に基づき文言を修正することがある旨を説明し、出席社員の賛成多数をもって承認した。

IV 理事会の開催状況

第1回理事会

[名称] 2022年度第1回理事会

[場所] Zoom会議(本部事務局)

[日時] 2022年2月5日(土)午後2時00分～2時50分

[出席者数] 13名(総数14名 本人出席13名、議決権行使書0名)

[内容]

第1号議案 総会提出議案について(総会資料参照)

2021年度事業報告(事業報告書参照)

2021年度収支決算報告(財産目録、貸借対照表、損益計算書、活動計算書参照)

2022・2023年度事業計画(事業計画書参照)

2022・2023年度活動予算(活動予算書参照)

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。

第2回理事会

[名称] 2022年度第2回理事会

[場所] Zoom会議(本部事務局)

[日時] 2022年3月27日(日)午後4時30分～5時50分

[出席者数] 13名(総数14名 本人出席10名、議決権行使書3名)

[内容]

議事

議題1 事務局・執行体制及び職員待遇にかかる規則整備について

あくあぴあ勤務の職員より病気治療の件で相談があった。検査の結果、治療が長引く可能性があるが、仕事と治療の両立を希望したいとのこと。事務局としては本人の意欲や能力もあるので現行の就業規則や福利厚生等の制度等をうまく運用して就労を継続できるようにサポートしていきたい。

日常の業務(水槽の管理や餌やり等)については4月以降も現行のアルバイトをあてる。

今後の詳細な部分については事務局と理事長に一任する。

職員の昇給については平均1号俸のアップとする。

議題2 2022年度事業について・4/29活動報告会

主な事業については博物館ワークショップ、ミュージアムサービス、高槻市立自然博物館指定管理等の継続やイオンモールやアウトレットモールへの出張ワークショップ、能勢町生物多様性調査等の予定。

活動報告会については「20周年を振り返って、そしてこれから先を見つめて」をテーマにパネルディスカッションを中心に進めたい。20周年の記念冊子の作成予定。

報告

認定NPO 寄付金の市民税、府民税の税控除申請書提出済み。

大阪市への年度末の届け出書類提出済み。

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。

第3回理事会

[名 称] 2022年度第3回理事会

[場 所] Zoom 会議

[日 時] 2022年8月21日（日）午後4時30分～5時30分

[出席者数] 13名（総数14名 本人出席 11名、議決権行使書 2名）

[内 容]

議 事

議題1 2022年度上半期事業の進捗について

主な事業については博物館ワークショップ、ミュージアムサービス、高槻市立自然博物館指定管理等の継続やイオンモールやプレジャータウンへの出張ワークショップ、いばらきの生きもの博、能勢町生物多様性調査等。コロナの影響もあるが外出規制もなく、それなりに順調に進んでいる。秋に予定の自然史フェスは8/16現在、47団体の参加予定。

議題2 事務局執行体制（あくび人事含む）について

新規事業の予定（現在未確定）もいくつかあり、新規採用者を募集し現在面談中。

あくびについては3月理事会時に議題にあがった仕事と治療の両立希望職員は現在良好な状態で勤務している。昆虫担当の学芸員が館の運營業務と専門分野業務で5/週で勤務していたが体調不良との申し出があり、話し合った結果、9月から3/週の専門分野のみの勤務に変更。

議題3 旅費規程について

職務での自家用車利用の移動について交通費（車両維持管理費含む）としてガソリ1Lあたり150円支給していたが（走行距離換算）、ガソリン代の値上がりに伴い、当面の間、200円に変更する。今後、事務局で状況に応じ適宜対応する。

議題4 その他

大阪府の最低賃金が10月より時間あたり1023円になるので、センターの1日最低単価を7000円から7200円に引き上げる。

体調不良時の長居から博物館前までのバス利用については状況に応じて事由を事務局に申し出、理事長の決裁とする。

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。

第4回理事会

[名 称] 2022年度第4回理事会

[場 所] Zoom 会議室

[日 時] 2022年12月24日（土）午後4時30分～6時00分

[出席者数] 14名（総数14名 本人出席 12名、議決権行使書 2名）

[内 容]

議 事

議題1 2022年度・2023年度の事務・事業について（事務局資料参照）

2022年度収支の状況（決算見込み）寄付受領状況について

2022年度事業の進捗について

2023年度事業計画・予算について

コロナの終息はまだまだ見えないが、規制緩和が始まり各事業もぼちぼちコロナ前にもどりつつある。寄付金もセンター20周年記念キャンペーンや3年ぶりの自然史フェス開催へのクラウドファンディング等、多くの方々から大きな支援をいただき決算も黒字で終われそう。

来年度については今年度並みの事業が続くと思われるので、予算はほぼ同じとする。ミュージアムショップ、博物館ワークショップ、高槻市立自然博物館は来期も継続予定。能勢町事業(RDB 減)、剥製修復等、出張ワークショップ、ミニガイドの再版等の事業は継続。新規事業では博物館からのリステックス(3年間予定)くらい。寄付部門はマンスリーサポート寄付を計画。インボイス制度への対応準備をする。

議題2 事務局・執行体制及び職員処遇について

12月賞与については規定通りの支給とする。

9月より新規臨時職員1名採用。

12月末であくびの昆虫担当者が退職予定。(交代要員を検討中)

議題3 役員改選について

前迫理事、渡邊理事が任期満了にて退任予定。白木理事保留。

新理事候補については未定。

議題4 総会・理事会の開催(案)について

・日時：2023年2月4日 午後1時から理事会

午後3時から総会開催予定

・場所：大阪市立自然史博物館会議室((Zoom会議方式)

Zoom会議室(大阪自然史センター総会 20230204 Zoomミーティング)

アカウントは未設定です。

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。

THANKS FOR

YOUR SUPPORT

2022



2022年もたくさんのご寄付をいただきありがとうございました

2022年は延べ **571** 件

総額 **6,098,509円** のご寄付をいただきました！

- 大阪市立自然史博物館友の会の活動へ 1,259,800円
- 大阪自然史フェスティバルの活動へ 2,142,341円
- 子どもワークショップ等の普及教育の活動へ 385,000円
- ＜東北支援＞子どもワークショップの活動へ 10,600円
- 関西自然保護機構(KONC)の活動へ 501,500円
- 大阪自然史センターへ 1,799,268円

ご支援、ご協力に感謝します。
本当にありがとうございました！！

